

科目名	公衆衛生看護方法Ⅱ (展開論) Public Health Nursing Ⅱ		担当教員 (研究室番号)	中北裕子 (404) 清水真由美 (408) 荻野紀那 (409) 根本真理子 (409) 一尾麻美 (409)	教員への連絡方法 (メールアドレス)	中北:yuko.nakakita@mcn.ac.jp 清水:mayumi.shimizu@mcn.ac.jp 荻野:hina.ogino@mcn.ac.jp 根本:mariko.sugimoto@mcn.ac.jp 一尾:asami.ichio@mcn.ac.jp					
履修年次	3年次 前期	科目 区分	専門科目・広域看護学	選択 区分	必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
										オープンクラス	否
科目 目的	1. 地域における人々の健康生活を支援する展開方法と支援活動を踏まえ、公衆衛生看護活動における支援技術の基本を学ぶ。 2. 公衆衛生看護活動における活動事例を用いて、活動の展開方法、支援技術を修得する。										
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。(技能・表現)									
	関連するDP	B 人々の生活に根差した看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現) D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。(技能・表現) E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)									
到達 目標	1) 公衆衛生看護活動の展開過程を理解できる。 2) 個人・家族に対する看護の展開について理解できる。 3) 公衆衛生看護活動における援助技術について理解できる。 4) 公衆衛生看護活動における事例から、活動の展開方法、支援技術を修得できる。 5) 各保健活動における保健師の役割について理解できる。										
成績評価方法 (基準)	演習(20%)、試験(80%) ※授業の3分の2以上出席していない者は受験資格がありません。										
再試験の有無と 基準等	科目の可否で不合格となった者は、当該学生からの申請があれば再試験(筆記試験)を実施します。										
教科書	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第3版(医学書院)										
参考書等	新版保健師業務要覧 第3版(日本看護協会出版会) 最新保健学講座3 公衆衛生看護活動論①(メチカルフレンド社) 最新保健学講座4 公衆衛生看護活動論②(メチカルフレンド社) 国民衛生の動向(厚生統計協会) 保健師国家試験問題(医学書院) 保健師国家試験問題解説(インターメディカル) 等必要に応じて紹介いたします										
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待	公衆衛生看護活動は社会生活との繋がりの中で展開されます。身近な事例等を用いながら自身の生活と関連づけて学習をすすめます。										
備考	看護学原論、基礎看護方法Ⅰ～Ⅳ、公衆衛生看護方法Ⅰを修得していないと履修できません。										
回	学習項目			学習内容					担当 教員	授業 方法	
1回	学校保健活動① 学校保健の動向と施策			学校保健の目的、動向について学ぶ 学校看護職の変遷について学ぶ 学校保健活動における看護の役割について理解する					中北	講義	
2回	学校保健活動② 学校保健・安全制度とシステム			学校保健における関係法規(学校教育法、学校保健安全法等)について学ぶ 学校保健・安全の制度としくみ(保健学習、学校安全、学校保健計画に基づく活動等)について学ぶ					中北	講義	
3回	学校保健活動③ 学童期・思春期の発育・発達と健康課題			学童期・思春期における発育発達の特徴について学ぶ 学童期・思春期における主な健康課題(不登校、いじめ等)について学ぶ 学童期・思春期における健康課題への支援について理解する 特別な支援(医療的ケア、発達障害、慢性疾患等)を必要とする対象者への対策と支援について理解する					中北	講義	
4回	学校保健活動④ 学校保健活動と養護			学校保健活動展開の実際について学ぶ 養護教諭の活動の実際について理解する (学外協力者招聘)					学外 協力者	講義	
5回	学校保健活動⑤ 学校保健活動の展開			学校保健における看護職の役割について理解する 学校保健室の機能について理解する					中北	講義	
6回	産業保健活動① 産業保健の動向と施策			産業保健の目的、動向について学ぶ 労働安全に関する法規(労働安全衛生法、育児休業法等)と仕組みについて学ぶ					中北	講義	
7回	産業保健活動② 産業保健制度とシステム			産業保健におけるシステム(労働災害と安全等)について学ぶ 産業保健における看護と社会資源について理解する					中北	講義	
8回	産業保健活動③ 産業保健の課題			職業疾患(振動・騒音障害)と予防対策について学ぶ 作業疾患(VDT等)と予防対策について学ぶ 職場におけるメンタルヘルスケア、ストレス対策について学ぶ					中北	講義	
9回	産業保健活動④ 産業保健活動の展開			産業保健における看護活動(個別的、集団的、組織的)の展開について学ぶ 産業保健活動における看護職の役割について理解する					一尾	講義	
10回	成人保健活動 成人各期の健康課題と保健指導			成人各期の特徴と健康課題について学ぶ 成人期における生活習慣病(高血圧、糖尿病、心疾患、悪性新生物等)予防(特定健診、特定保健指導)について学ぶ					荻野	講義	
11回	障がい者(児)保健活動 障がい者(児)の課題と保健指導 難病保健活動 難病療養者の課題と保健指導			障がい者(児)保健活動(自立支援、権利擁護)について学ぶ 障がい者(児)保健活動における保健師の役割について理解する 難病保健活動(相談、患者会支援、社会資源の開発等)について学ぶ 難病保健活動における保健師の役割を理解する					中北	講義	

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
12回	高齢者保健活動(1) 高齢者の特徴と健康課題	高齢者の特徴と生活・健康課題とその予防について学ぶ 介護予防に関わる保健師の役割を学ぶ 歯科保健における保健指導（歯周疾患予防等）の実際について学ぶ	荻野	講義
13回	高齢者保健活動(2) 高齢者の特徴と健康課題	支援の必要な高齢者（認知症、独居等）と家族の住み慣れた地域での生活を継続するための支援について学ぶ 地域包括ケアシステム構築における保健師の役割を理解する	荻野	講義
14回	高齢者保健活動(3) 高齢者の特徴と健康課題	地域包括ケアシステムにおける看護活動（個別的、集団的、組織的）の実際について学ぶ 地域包括支援センターの保健師等の役割について理解する	梶本	講義
15回	感染症保健活動① 結核、HIV、新興感染症における保健活動	結核・HIV・新興感染症管理と保健活動（集団的対応、個別的対応）の実際について学ぶ 結核・HIV・新興感染症活動における保健師の役割について理解する（学外協力者招聘）	学外協力者	講義
16回	感染症保健活動② 健康危機管理対策と保健活動	感染症集団発生の動向について学ぶ 感染症集団発生時の保健活動（疫学的調査、感染者への保健指導等）の実際について学ぶ 感染症集団発生時の保健師の役割について理解する（学外協力者招聘）	学外協力者	講義
17回	精神保健活動 精神障がい者の健康課題と保健活動	精神障がい者の特徴と健康課題について学ぶ 精神保健活動（社会への啓発、早期発見と治療、社会復帰への支援等）の実際について学ぶ 精神保健活動における保健師の役割を理解する（学外協力者招聘）	学外協力者	演習
18回	保健指導(1) 健康教育①	地域におけるニーズの把握、保健指導計画書（評価含む）の作成の実際。母子、成人、高齢各期における保健指導の実際について学ぶ	中北	講義
19回	保健指導(2) 健康教育②	保健指導の実際について学ぶ（1） 母子保健、成人・高齢者保健、メンタルヘルス各分野における保健指導計画書（評価含む）の作成	荻野,他	演習
20回	保健指導(3) 健康教育③	保健指導の実際について学ぶ（2） 保健指導計画書に沿って、対象者に応じたシナリオ作成の実際	荻野,他	演習
21回	保健指導(4) 健康教育④	保健指導の実際について学ぶ（3） 保健指導計画書に沿って、対象者に応じたシナリオ作成の実際	荻野,他	演習
22回	保健指導(5) 健康教育⑤	保健指導の実際について学ぶ（4） 保健指導計画書に沿って、対象者に応じた媒体作成の実際	荻野,他	演習
23回	保健指導(6) 健康教育⑥	保健指導の実際について学ぶ（5） 保健指導計画書に沿って、対象者に応じた媒体作成の実際	荻野,他	演習
24回	保健指導(7) 健康教育⑦	保健指導の実際について学ぶ（6） 保健指導計画書に沿って、対象者に応じた媒体作成の実際	荻野,他	演習
25回	保健指導(8) 健康教育⑧	保健指導の実際について学ぶ（7） シナリオ、媒体を用いた保健指導の実際	荻野,他	演習
26回	保健指導(9) 健康教育⑨	保健指導の実際について学ぶ（8） シナリオ、媒体を用いた保健指導の実際	荻野,他	演習
27回	保健指導(10) 乳幼児家庭訪問	訪問産後4カ月程度の母子訪問における、保健指導の実際について学ぶ 女性のライフステージ（思春期、成熟期、更年期）における健康課題について学ぶ。 家庭訪問における保健師の役割を理解する。 虐待防止における保健師の役割と支援を理解する。	中北,他	演習
28回	保健指導(11) 乳幼児健康相談 乳幼児期各期の成長発達と健康課題	乳幼児の身体計測に必要な技術を学び、習得する 乳幼児期各期の成長発達に合わせた保健指導の実際について学ぶ 乳幼児健康相談における保健師の役割を理解する	中北,他	演習
29回	保健指導(12) 幼児健康診査での保健指導	乳幼児期各期の成長発達に合わせた保健指導の実際について学ぶ 乳幼児健康診査における保健師の役割を理解する 歯科保健における保健指導（う歯予防）の実際について学ぶ	中北,他	演習
30回	公衆衛生看護活動 ライフステージ（思春期～高齢者）に応じた健康課題と保健師活動	各ライフステージ（思春期～高齢者）の発育・発達及び生活の特徴と健康課題を学ぶ 公衆衛生看護活動における保健師の役割を理解する	中北	講義

学 習 課 題

1回目～30回目課題（事前）：学習項目の教科書該当頁を必ず、一読して講義に臨んでください。

公衆衛生看護学方法Ⅱで配布した全ての資料を、本科目受講前に再度復習してください。

また、本科目受講の際は、必ず上記資料をご持参ください。演習ではパソコンを使用します。

実務経験を活かした教育の取組

- ・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。
- ・行政機関等において保健師として実務に携わった教員が指導する。また、保健師、養護教諭の実務経験のある学外協力者から指導を受ける。